

プリント回路・実装

インタビュー

iTak(Inter national) Limited
プレジデント

後藤 俊夫 氏



白物家電向けの基板実装を手がけるEMS(電子機器の製造受託サービス)事業にも注力している。日本国内には開発か

出す。社内にスピーカーやマイククロフォンなどの音響部品を取り扱う部署や、トランス、コイル、リレー、レギュレーター、トランジスタ、ダイオード、電解コンデンサーなどの電源用部品を扱う部署もあるので、これらとの相乗効果にも期待している。

後藤 今年に入ってから は確かに新型コロナウイルスの影響で、中国市場を中心に白物家電含めて需要が弱い。中国国内の生産活動も3月半ばまでは6〜7割稼働の状況で、フル稼働ではなかった。今後、徐々に回復するとしており、当社の電子部品関連需要も戻って来るとみている。

後藤 現在は物流機能も兼ね備えたIPO(インターナショナル・プロキョアメント・オフィス=資材調達拠点)機能も強化していきたい。本社のある香港は、中国をはじめASEANにおけるエレクトロニクス生産拠点の要衝ともいえる。品質管理部門の強化をベースに、現在進めているモノづくり力の向上といった路線を堅持しつつ、このIPOとの相乗効果をフルに発揮していきたい。

製造と品質保証を高度化

中期で売上高2億ドルへ

iTak(Inter national) Limited(日本人=アイトックインターナショナルジャパン)株、東京都新宿区新宿3-3-9、03-5369-4100)は、建設資材や産業資材を扱う中堅商社、高島株(東証一部上場)の100%子会社として1993年に香港に設立された。日系エレクトロニクスメーカーの海外進出と軌を一にして、電子デバイス事業を拡大してきた。2019年は年間売上高1.6億ドル強を達成し、さら

なる飛躍を目指す。プレジデントの後藤俊夫氏に今後の事業戦略を聞いた。

後藤 当社の親会社は、建材や産業資材を扱う専門商社の高島株(東京都代田区)で、電子部品を扱う専門商社として当社は設立された。当時からグローバル企業を目指し、香港に本社を置いた。現在はアジア

地域をベースに子会社6社を含め12拠点を展開する。従業員も400人強に上る。

後藤 ICやコンデンサーなどの電子部品を扱う商社機能、ならびにLCDモジュールや巻線コイルといった電子部品製造を行うメーカー機能を持つ。最近

ら組み込みソフトまでを受託できる機能がある。LCDモジュールはベトナムに自社工場を構え、18年から自社ブランドのモノクロ液晶の後工程を行っている。今後はPIN付タイプやCOG、バックライトモジュールの生産にも乗り

後藤 自社のタイ工場ならびに製造委託先の中国・華南/華東の工場を中心に、白物家電・コンシューマー向け基板実装を手がけています。タイ工場(敷地4060㎡)は17年11月に設立され、従業員は200人

後藤 モノづくりの実力を上げていく。そのためには品質管理体制の強化は不可欠になる。私の直属の部門として品質管理推進室を立ち上げている。現在、日本に専門の技術スタッフ6

人配置し、香港や製造拠点にも品質管理のスタッフを常駐させている。さらに即戦力を含め人材の増員も検討している。

後藤 今後の事業展開について。後藤 今後は物流機能も兼ね備えたIPO(インターナショナル・プロキョアメント・オフィス=資材調達拠点)機能も強化していきたい。本社のある香港は、中国をはじめASEANにおけるエレクトロニクス生産拠点の要衝ともいえる。品質管理部門の強化をベースに、現在進めているモノづくり力の向上といった路線を堅持しつつ、このIPOとの相乗効果をフルに発揮していきたい。

後藤 現在は物流機能も兼ね備えたIPO(インターナショナル・プロキョアメント・オフィス=資材調達拠点)機能も強化していきたい。本社のある香港は、中国をはじめASEANにおけるエレクトロニクス生産拠点の要衝ともいえる。品質管理部門の強化をベースに、現在進めているモノづくり力の向上といった路線を堅持しつつ、このIPOとの相乗効果をフルに発揮していきたい。

後藤 ICやコンデンサーなどの電子部品を扱う商社機能、ならびにLCDモジュールや巻線コイルといった電子部品製造を行うメーカー機能を持つ。最近

ら組み込みソフトまでを受託できる機能がある。LCDモジュールはベトナムに自社工場を構え、18年から自社ブランドのモノクロ液晶の後工程を行っている。今後はPIN付タイプやCOG、バックライトモジュールの生産にも乗り

後藤 自社のタイ工場ならびに製造委託先の中国・華南/華東の工場を中心に、白物家電・コンシューマー向け基板実装を手がけています。タイ工場(敷地4060㎡)は17年11月に設立され、従業員は200人

後藤 モノづくりの実力を上げていく。そのためには品質管理体制の強化は不可欠になる。私の直属の部門として品質管理推進室を立ち上げている。現在、日本に専門の技術スタッフ6

人配置し、香港や製造拠点にも品質管理のスタッフを常駐させている。さらに即戦力を含め人材の増員も検討している。

後藤 今後は物流機能も兼ね備えたIPO(インターナショナル・プロキョアメント・オフィス=資材調達拠点)機能も強化していきたい。本社のある香港は、中国をはじめASEANにおけるエレクトロニクス生産拠点の要衝ともいえる。品質管理部門の強化をベースに、現在進めているモノづくり力の向上といった路線を堅持しつつ、このIPOとの相乗効果をフルに発揮していきたい。

後藤 現在は物流機能も兼ね備えたIPO(インターナショナル・プロキョアメント・オフィス=資材調達拠点)機能も強化していきたい。本社のある香港は、中国をはじめASEANにおけるエレクトロニクス生産拠点の要衝ともいえる。品質管理部門の強化をベースに、現在進めているモノづくり力の向上といった路線を堅持しつつ、このIPOとの相乗効果をフルに発揮していきたい。

聞き手・副編集長 野村 和広